



### 凝縮された日本の歴史と今が眼前。 どこを歩いても世界に通ずる迫力がある

1947(昭和22)年に麹町区と神田区が合併して誕生した千代田区は、江戸城の別名である「千代田城」にちなんでその名がつけられました。江戸城がそびえた頃から「政治と経済の中核」を担う日本の中心、東京の中心です。歴史的建造物と高層ビル群、地域に根ざした伝統と先端の文化が調和し、活気に満ちた人々の息づかいが感じられます。



取材・写真協力: 千代田区観光協会  
JR東日本企画  
学士会館

#### ① 東京駅

1914(大正3)年に開業した日本の玄関口、東京駅。南北に両翼を伸ばした地上3階建、レンガ造りの丸の内駅舎は国指定重要文化財です。2012(平成24)年に、創建当時の姿に復元されました。



#### ② 神田明神

正式名称は神田神社。730(天平2)年に創建された古社です。2代將軍秀忠により現在地へ遷座し、江戸総鎮守になりました。隔年5月開催の神田祭は江戸三大祭りとしても有名です。



#### ③ 神田古書店街

神保町は、近代文学・美術・演劇・音楽・漫画など、専門分野ごとの古書店が建ち並ぶ世界屈指の古書店街。秋には「神田古本まつり」「神保町ブックフェスティバル」が開催され大変な賑わいです。



#### ④ 秋葉原電気街

パソコンやデジタル機器関連など、500軒を超える店舗がひしめくクールジャパンの象徴、国内最大の電気街。ゲームやアニメ、ポップカルチャーの発信地として外国人観光客にも大人気です。



#### ⑤ 学士会館

東京大学発祥の地に関東大震災後に建てられた学士会館は、モダンで重厚な建物として国の有形文化財に登録。現在は宿泊、レストラン、結婚式場、会議室として大切に利用されています。